

## 航空貨物NACCS業務の一部に対応

### ■サイバーポート、4月中に機能提供

国土交通省港湾局と航空局は2日、サイバーポート（港湾物流）における「輸出入・港湾関連情報処理システム」（NACCS）連携機能が航空貨物にも対応することになると発表した。現状、港湾物流手続きのみが対象となっているが、航空貨物への対応を望む声があること、シー・アンド・エア一輸送推進の観点などの背景のもと、NACCS連携機能において航空貨物にかかわる業務の一部をサイバーポート経由で実施できるようにする。機能リリースは4月中を予定している。

サイバーポートは港湾全体の生産

性向上に向けた取り組みを推進するために、民間事業者間の港湾物流手続きなどを電子化するデータプラットフォーム。2023年からは、行政手続きなどをオンラインで処理するNACCSとのシステム間直接連携機能を運用している。国交省によると、こうした機能のもとで、サイバーポートとNACCS間で直接データ連携を行い、物流手続きと通関手続きのワンストップ化の実現が可能となっている。

今回、NACCS連携機能に関して、利用者からの要望などを踏まえて航空貨物にも対応することとした。対象

となる機能（業務コード、業務種別）や実施可能業種は①IAW 輸入貨物情報照会（照会）＝航空会社、代理店、通関業、混載業、保税蔵置場、輸出入者など②IGS 輸出貨物情報照会（照会）＝航空会社、代理店、通関業、混載業、保税蔵置場、輸出入者など③IID 輸入申告等照会 航空（照会）＝全利用者④IEX 輸出申告等照会 航空（照会）＝全利用者⑤ACH AWB 情報登録（輸入）（登録）＝航空会社⑥HCHO1 HAWB 情報登録（輸入）（登録）＝混載業